



エコ・ファーストの約束（更新書）

環境先進企業としての地球環境保全の取組み

平成24年3月7日

環境大臣 細野 豪士 殿

株式会社川島織物セルコン
代表取締役社長

中西正夫

川島織物セルコングループは、グループ丸となった環境保全活動によって、社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けて、次の取組みを推進いたします。

（基準年度は、特別に掲載していないものは2006年度とします。）

1. 全ての事業活動において低炭素社会の実現に向け、CO₂排出量の最小化を図ります。

■ オフィス部門^{注1}ではチャレンジ25の活動と当社グループの環境保全活動を推進し、省エネルギーに努め、2016年度までにエネルギー消費に起因するCO₂排出量を15%削減します。2020年度までに25%削減を目指します。

（注1）オフィス部門は、事務・営業及び研究開発等（市原事業所非生産部門、全支店・主要営業所）。

■ 生産部門^{注2}では、環境に配慮した新技術による商品の生産や生産工程での不良低減等ムダ・ロスの排除、さらには動力・生産設備の省エネ化などにより2016年度までにエネルギー消費に起因するCO₂排出量を15%削減します。2020年度までに25%削減を目指します。

（注2）生産部門は、市原事業所、縫製工場。

■ 当社オリジナルタイルカーペットに関しては、製品ライフサイクル（素材・製品の製造から廃棄に至るまで）のCO₂排出量を商品カタログに明記し、従来品と比べたCO₂排出量を販売量に基づき2009年度から毎年公表し、2012年度までに従来品と比べ、CO₂排出量を10%削減し、2016年度までに12%削減します。

■ 「カーボンオフセットタイルカーペット」に関しては、リサイクルなどの技術により、生産時に排出するCO₂を削減し、カーボン・オフセット（2008年度を初年度とし、2012年までの5年間に合計4,000トンのクレジットのうち、該当商品の販売数量に応じ、日本政府に無償譲渡していきます。）することにより、製品ライフサイクルのCO₂排出量を半減させます。（2012年度までにCER4000トンを日本政府に無償譲渡し、2012年以降も製品ライフサイクルのCO₂排出量の削減に努めます。）

2. 循環型社会の形成に向けた取組みを積極的に推進します。

■ 今後、開発する当社オリジナルタイルカーペットに関しては、環境配慮型商品^{注3}とし、その商品アイテム数比率（当社オリジナルタイルカーペットの商品数比率）を2016年度までに70%にします。また、環境配慮型タイルカーペットの販売を促進してまいります。

（注3）環境配慮型商品とは、その商品の製造時、使用時、廃棄時において、人の健康と環境に配慮した商品であるか否かを当社が独自に定めた基準によって該当した商品である。

■ 使用済みタイルカーペットのリサイクル化のために、その回収システムを構築し、2012年度までに回収率を30%にします。

■ グループ全部門の廃棄物の削減と、最終処分量の削減を推進し、既に最終処分量1%未満を達成している事業所（市原事業所）はその維持管理を行い、未達成の部門（縫製工場）は2008年度を基準として、2012年度までに廃棄物発生量の5%削減と、最終処分量1%未満を達成します。2012年度以降も引き続き更なる削減を目指します。

3. その他の環境配慮型商品の開発とその普及を推進します。

■ タイルカーペット以外の室内装飾品に関しても、製造時、使用時及び廃棄時の人への健康や環境に配慮した環境配慮型商品の開発とその普及に努め、環境配慮型商品の商品アイテム数比率（商品数比率）を10%増加させます。

株式会社川島織物セルコンは上記取組みの進捗状況を確認し、その結果については定期的に公表すると共に、環境省に報告いたします。



KAWASHIMA SELKON